

# 抱樸館を支える会 会報

30号



2018年6月1日 発行:抱樸館を支える会

## 抱樸館福岡の新館長、遠竹宣宏さんにお聞きしました。

抱樸館福岡の館長は4月から遠竹宣宏さんが就任されています。遠竹館長に抱負などをお聞きしました。遠竹館長は36才、11年前からグリーンコープで働かれています。抱樸館福岡へ2014年9月異動、4年弱になります。

——抱樸館福岡への異動は遠竹さんが希望されたのですか。

「希望したわけではありません。だから抱樸館で見聞きすることは、ある意味で新鮮でした。抱樸館に来るまではホームレスは、やる気がない人たちだと思っていました。背景に障がいや家庭環境が関係していることに驚きました。」



——抱樸館福岡で働き始めて思ったことを聞かせてください。

「ここの職場は人が居住しているので、24時間365日対応が迫られる施設です。自分の予定と関係なく事件は起きます。自分たちスタッフだけでは対応できないこともあります。でも、入居者が抱樸館を卒業する時に心の準備、生活の準備を整えるように出来れば考えると、目に見えてやりがいのある仕事だと思っています。」

——抱樸館で仕事をする上で心がけていることがありますか。

「自分は異動してここに来て、福祉関係の仕事は初めてするわけです。一方で、専門的な勉強・訓練をしてここで働いているスタッフもいます。一緒に働く姿勢が常に問われているという気持ちを持ち続けようと心掛けています。」

——館長になるきっかけは？

「抱樸館で3年ほど働いて、自分なりに抱樸館での仕事のやり方、あるいはやりたいことなどがありました。それで“三堀明人館長の後任をして欲しい”という話があったとき、引き受け

ることにしました。」

——館長として思っていることを聞かせてください。

「NPO抱樸のスタッフの対人支援のスキルが抱樸館福岡の創設期を支え、その後グリーンコープ出身の城戸、三堀館長が組織運営ということで運営のスタイルを積み重ねて来られたと思っています。現在この職場はNPO抱樸とグリーンコープのスタッフで運営しているので、それぞれが力を発揮していければ良いと思っていますし、私はそのような環境を用意したいと考えています。」

——これからやりたいことを聞かせてください。

「先ず、卒業生のサポートです。これまでの卒業生はまもなく1000人になります。全員を定期的に訪問するのは難しいと考えています。それで、卒業生から訪ねて来てくれるような場を作っていかなければいけないと思っています。例えばカフェの際に“よろず相談”などの窓口を用意するなどです。また、同じアパートに住む卒業生が日常的に交流するような見守りネットワークが出来れば良いと思っています。そして校区の公民館である多々良公民館ではカフェを月に2回開催していますので、そこに卒業生と一緒に足を運んだりすることもできればと思っています。それから地域との関係を大切にしたいです。地域の民生委員さんとは、高齢者のサポートをするうえでノウハウを共有する意味は大きいと思いますので、協力しながら関係作りをしたいと思っています。」

——ありがとうございました。

### 「きずな祭」は春の開催に変更になります

毎年11月初めに開催していましたが、他のいろいろな行事と重なりますので、5月開催に変更します。今年度は開催を見送り、来年5月に次のきずな祭を開催する予定です。

## 季節を感じる特別メニューも出せるようになりました。

抱樸館福岡の食事はグリーンコープの取引先から提供いただく食材に支えられています。

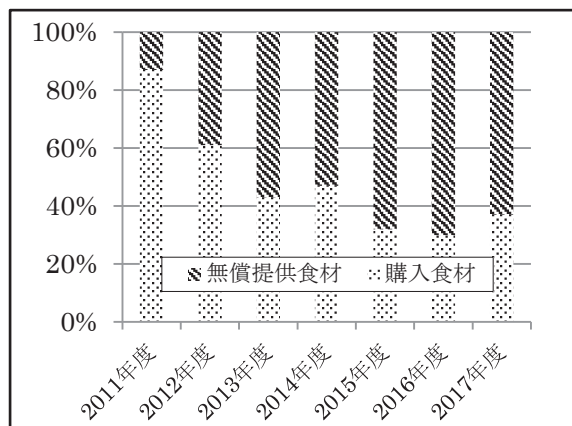
### 毎年、6～7割の食材を無償提供いただいています。

抱樸館福岡が開設されたのは、8年前の2010年5月です。

当初、食材はすべて購入していました。

居室が満室の場合の食材費は年間1200万円位でした。

2012年1月にグリーンコープの取引先に食材提供をお願いしました。多種多様な商品を作っている生産者・メーカーから、たくさんの食材を提供いただけるようになりました。入居人数を勘案した食材の購入比率（購入食材：無償提供食材）は以下のようになっており、6～7割の食材を毎年提供いただいています。



### 2017年度は無償提供食材の比率が少し減ったように見えますが？

2017年度の購入食材は約360万円で、

前年よりも少し購入金額が増えました。無償でいただいた食材はほとんど変わりませんが、安価な市販品からグリーンコープの



食材に変更したことと、毎月一度は、季節を感じてもらう特別メニュー（うなぎ、ぶり大根、さんまと山菜ごはん、クリスマスに合わせて「一口ステーキ・唐揚げ・マッシュポテト」、など）の企画をしたことによります。

今回の特別メニューの企画などにより、「家庭で食べるような食事」がまた一歩前進したと思います。

### 2017年度は、60のメーカー・生産者から、無償提供いただきました。

**青果**の8割くらいは生産者から無償で提供いただいています。無償提供いただいている青果は小玉などの規格外青果が中心です。



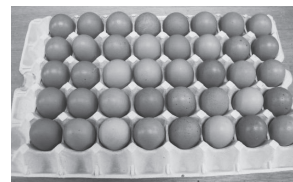
パレイショ、玉ねぎ、人参、きゅうり、椎茸は年間を通して提供いただいています。

この4品目以外の根物（大根、カブ、里芋、生姜、ごぼう、さつまいも、など）、葉野菜（キャベツ、白菜、レタス、グリーンリーフ、ネギ類、小松菜、春菊、アスパラガス、シソの葉、にら、など）、果菜類（なす、トマト、ミニトマト、ピーマン、スイートコーン、かぼちゃ、ゴーヤ、枝豆、など）、果物（柿、みかん、中晩柑、など）をいただいております、購入するのは時期的に不足する葉野菜と果菜類の一部だけという状況です。



グリーンコープの生産者から提供される野菜は味が良いので、いただいた野菜を工夫していろいろなものに使っており、入居者に好評です。

**たまご**は、たまごの生産者から毎週30kgを無償提供いただいています。



たまごは使う機会の多い食材のひとつです。抱樸館福岡で使うたまごはすべて無償提供いただいております、本当に助かっています。

**調味料**では、年間を通じて味噌・醤油はグリーンコープの取引先からの無償提供分でまかなえています。味噌・醤油は基本的な調味料で、味の決め手になるものなので、とても助かっています。

年間に無償提供いただく味噌は約600kg、醤油は350リットルになります。

食用油も年間を通じて無償提供いただいています。それ以外の調味料ではケチャップ、ソース、ポン酢、ドレッシングなどを無償提供いただいています。



**豆腐や油揚げ**、豆腐は毎週60丁(×300g)無償提供いただいています。揚げも定期的に無償提供いただいています。豆腐・揚げ類は、すべて無償提供いただいています。



**納豆**は朝食に好評です。これも現在では無償提供いただいた納豆だけでまかなえています。



**練り製品**(かまぼこ・ちくわなど)は毎週定期的に無償提供いただいております。購入することはありません。



**ハム・ソーセージ**は、GCハム・ウィンナー・ベーコン規格外を無償提供いただき、購入する必要はなくなっています。



**こんにゃく**(糸・板)は毎月定期的に無償提供いただいております。購入する必要はありません。

**漬物**は毎週たくさん無償提供いただいています。食事の際、入居者が自由に食べられるようにしています。

梅干も無償提供いただいているものでまかなえています。

**パン** 週に2回はパン食です。相当安い価格で提供いただくメーカーや毎週無償提供いただいているメーカーもあり、入居者にとっても好評です。

**お米**は食材費の中の2～3割を占めています。2017年度は、6取引先(生産者など)から

合計1480kgも無償提供いただきました。必要なお米の3ヶ月分くらいに相当します。



**その他の食材**では、エコシュリンプ、生さんま、塩数の子、明太子、はまち粕漬、のどぐろ開き、ササカレイなどの魚介類、若鶏、お菓子、昆布だし、ソース類、はちみつ、玄米餅、シャーベット、かにクリームコロッケ、粉末レモネード、などを無償提供いただいています。

**グリーンコープ連合**の物流センターからは仕分け商品の予備品、青果リパック事業部からは、規格外のバナナ、りんご、長ネギ、小松菜、ピーマンなどを提供いただいています。

**提供いただいている取引先名・生産者名**は、感謝を込めて1年分をまとめて、抱樸館福岡の食堂にお名前を紹介させていただくことにしています。

### 厨房職員の工夫で美味しい食事になります。

食材は計画的にいただいているもの、長期保存できるものだけではありません。「予期せぬ嬉しい提供」もあります。同じものの量が多い場合や、賞味期限が迫っているものもあります。

今年度は、冬にたくさんの大根をいただきました。おでん、ふろふき大根などの煮物や、朝食の大根おろし、自家製の漬物にして提供しました。

しかし、目に見えて毎食同じ食材が続くと、入居者も飽きを感じてしまうことがあります。そこで、今年は水の代わりに大根おろしを入れてカレーをつくり、提供しました。

水の代わりに大根を入れることで、煮込み時間も短縮でき、甘みも増し、いいことづくめです。

このように、厨房では、いただいた貴重な食材を入居者に喜んで食べてもらえるよう日々工夫をこらしています。

提供いただいている食材は抱樸館福岡になくてはならないものになっています。ありがとうございます。





## “ふれあい食堂”が広がってほしい。

はまだふれあい食堂の細川豪（たけし）さんにお聞きしました（4月21日）

はまだふれあい食堂は、島根県浜田市の北部、国分小学校の校区にあります。国の天然記念物石見畳ヶ浦（いわみたたみがうら）のすぐそばにある「民宿しまや」を会場にして毎月第3土曜日、11時30分～13時30分に開かれています。今回（4月21日）は16回目です。



この食堂を始められた細川豪さんにお聞きしました。食材のことについては、この食堂の計画のときから一緒にされているグリーンコープ（島根）理事の枝広由紀さんにお話をお聞きしました。

### きっかけと運営

——この食堂を始められたきっかけを聞かせてください。

「子どもたちの6人に1人が食事に困る相対的貧困であるということがテレビなどで報道されるのを見て、4年くらい前から、食事ができない子どもたちのために子ども食堂ができないかということを考えていました。私はこの地域に住んでいるわけではないのですが、この民宿やこの地域に知り合いがいましたので、ここで始めることにしました。同じフィナンシャルプランナーということで知り合った枝広さんとは最初からこの取り組みを相談して一緒に始めることになりました。昨年（2017年）1月から始めました。」



——うまくいきましたか。

「そのような気持ちからでしたので『はまだ子ども食堂』という名前でスタートしましたが、1回目に来たのは、ボランティアや友達の子もたちと、近くのおばあちゃんだけで、チラシを見て来た子どもはいませんでした。2回目の案内を用意して、校区の国分小学校（児童340人くらい）の教頭先生が知り合いでしたので、案内を配ってもらうようお願いしました。そしたら『名称を変えませんか』と言われ、『はま

だふれあい食堂』という現在の名前にしました。“子ども食堂”の名付け親とされる方が『貧困対策とみられると、誰でも来づらくなる。子どもも大人も皆が来られる場所になった時、自然と支援が必要な子も来てくれる。いろいろな子どもがいて、いろいろな大人がいる。それぞれの存在が受け入れられる居場所になれば』と言われていたことを身に染みて感じました。2回目か3回目に市の関係者も来られて、この食堂が認知されていくことになりました。」

### 食材と利用者・ボランティアについて

——食材などはどのようにされたのですか。

（枝広）「初回は自分たちで持ち寄りました。その後単協【グリーンコープ（島根）】に相談して2回目からは鶏肉や豚肉、卵などを提供いただけることになりました。昨年の秋からはグリーンコープ全体の子どもの支援の枠組みがあるということで活用させていただいています。本日の食材はグリーンコープから玉ねぎ、パレイショ、牛肉2kg、トマトケチャップ2瓶などを提供いただきました。地元の方から大根や蕨（ふき）をいただいています。」



——この場所、民宿は貸していただいているのですか。

「この民宿のオーナーは以前から知り合いでした。話をしたら快く無料で貸していただきました。更に水光熱費も要らないと言ってくださっているので本当に助かっています。民宿ですのお客さんが連泊している場合もありますが、『昼は使って良い』ということにいただいています。」

——食事の料金はどうなっていますか。

「大人は300円、子ども（大学生まで）は100円いただいています。子どもは食事の準備と一緒に体験してもらうので100円で、という考え方にしています。最初、子どもは無料でしたが、無料にすることにいろいろなご意見もいただき、今のようになりました。」

——何人くらいが来られるのですか。

「平均の利用者は35人くらいです。大人と子どもはおおよそ半々です。食事は40人分用意します。実際は20人ちょっとのときや60人を超えた時もありました。予定人数を超えた場合でも何かを出せるように工夫はしますが、いよいよ困ったら『ごめんなさい。次回は早めにお越しください』とお断りをしたこともあります。今日も40人分用意して38人に利用いただきました。」

——手伝いのボランティアについてお聞かせください。

「手伝いいただくボランティアは、厨房は4人でホールは6人くらいです。前日に調理の下準備があり、昨日は6人が蕎麦の皮むきなどをしました。当日は手が空いた人は極力子どもたちと遊ぶようにしています。遊びの中で子どもたちから大切なことが聞けるからです。ボランティアは、最初は自分の知り合いの人に手伝いをお願いしていましたが、この場所が地域の憩いの場になることが大切であるということからこの地区の方にボランティアをお願いし、私と枝広さん以外のボランティアはこの地区の方です。」



ボランティアの皆さん(左から2人目が枝広由紀さん)

## 次回のふれあい食堂に向けた相談

一段落して、ボランティアの人たちは食事をして、次回のメニューや運営の相談をします。次回は5月19日(土)です。

メニューは、子どもたちが料理体験できるようなものを組み込むように相談が進みます。“おにぎらず、餃子、汁は具だくさんの豚汁、お好み焼き、などなど” いろんな意見が出されます。



次回は、以下のようなメニューにすることになりました。

- ・焼きそばをコッペパンに挟んだ調理パン  
(挟む体験を子どもたちがする)
- ・魚のフライ(白身魚、もしくは鰯+チーズ)
- ・中華スープ
- ・野菜サラダ

・柑橘などのフルーツ

そしてホットプレートを4台用意することにして持ってくるメンバーも確認しました。前日の作業は4名必要ということでそのメンバーも確認しました。

## これからやりたいこと

——細川さんはどのような仕事をされているのですか。

「フィナンシャル・プランニングサービス会社を経営しているのですが、個人経営に近いです。現在は損害保険や生命保険の代理店もしていますが、お金や家計の相談の仕事で経営が成り立ってばよいと思っています。そのような事情ですので割と時間に融通が利きます。」

——これからやりたいことを聞かせてください。

「私が呼びかけて始めたので、案内や行政との関係など、すべてを私がしています。例えば、チラシの作成と小学校や保育園への案内、出納、それから調理場の保健衛生担当・作業の衛生指導などなど。これらをこの地区のボランティアの皆さんで手分けして担当できないかと思っています。それから会場がここだけでなく、浜田市内の別の場所や周辺に増えて欲しいと思っています。隣の益田市で取り組みをしたいと考えている皆さんからこの食堂の話をして欲しいという講演依頼があります。皆さん始めるときは貧困家庭の子供を支援したいという思いがありますので、私の経験も役立てていただけるようにお話をしたいと思っています。」

——ありがとうございました。

## メモ

本日のメニュー：ハヤシライス、ポテトチップスと野菜サラダ、(たこの代わりにチョコが入った)たこ焼きチョコ、フルーツ

食事代とカンパ：お客さん38人で食事代89

00円+カンパ2800円で11700円

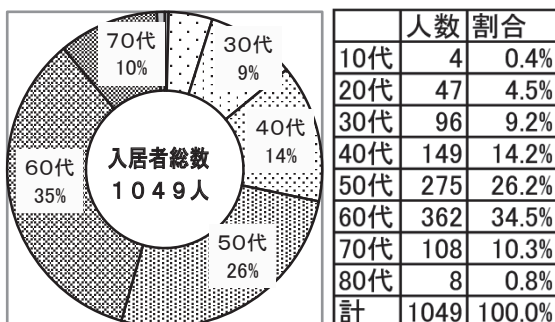
グリーンコープから提供されたもの、地元の方からの野菜以外で購入した食材：シーチキン、酢、マッシュルーム、グリーンピース、サニーレタス、牛乳、卵など

購入食材費やボランティア保険代などを差し引いて若干の余りがありました。



## 抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2018年4月末までの入居者数



2018年4月末現在の入居者

59人（定員81名） 男性57、女性2人

2018年3～4月の新入居者数・退居者数

新入居者数17名 退居者数24名

（注：4月末までの入居者数1049人は、  
2度・3度入居した人も1人と数えています。）

抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

## 抱樸館福岡の見学のご案内

- （1）グリーンコープ生協として見学される場合は、所定の用紙でお申込ください。  
（2）個人もしくは知り合いと一緒に

に見学される場合は、直接抱樸館福岡にご連絡ください。

◇出来れば5名以上でお願いします。（ホームページからも見学の申込が出来ます）

なお、1名あたり1000円の見学料をお願いしています。これには昼食代を含んでいます。昼食は入居者が日ごろ食べている食堂で同じものを食べていただきます。

## 抱樸館を支える会の概要

## 抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日：抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員：以下の17団体が正会員です。

グリーンコープの各単協（14生協）

グリーンコープ連合

NPO法人 抱樸（旧：北九州ホームレス支援機構）

社会福祉法人グリーンコープ

## 賛助会員

2018年2月末の賛助会員は、以下の通り

グリーンコープの共同購入組員 8894名

グリーンコープの店舗組員・一般の方 180名

企業賛助会員 106社

## その他（抱樸館の所在地）

抱樸館福岡（福岡市東区） 2010年5月開所

抱樸館北九州（北九州市八幡東区）2013年9月開所

抱樸館下関：新たに開設を準備中

抱樸館熊本：準備中

## 抱樸館を支える会 賛助会員と会費について

## 抱樸館を支える会 賛助会員募集

賛助会員を募集しています。  
賛助会員には、会報をお届けします。

## グリーンコープの共同購入組員

賛助会員の申込には2つの方法があります。

- ①毎月250円の賛助会費を申し込みいただく（年間で3000円です）

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。

共同購入申込書の1300で申し込みください。

- ②101000円の賛助会費を申し込みいただく。何口でも申し込み出来ます。

申し込みいただいた月の商品代金と一緒に一括して引き落としとなります。

共同購入申込書の1299で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されますので新たに申し込みいただく必要はありません。（グリーンコープの共同購入組員の場合）

①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

## 一般の方、グリーンコープの店舗組員

101000円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

## 企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1010,000円です。出来れば30（30,000円）以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

## 「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ

担当 家原 電話 092-482-1964

## 抱樸館の連絡先

抱樸館福岡（電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772）

〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州（電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705）

〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11